

子どもが安心できる「学びの環境づくり」

- 自ら学ぶ楽しさ ○自分が必要とされている心地よさ
- 他者に受け入れられている安心 ○仲間とともに学び合う喜び

しかし、何もしなくても、知らず知らずのうちに・・・

- 気分次第で態度を変える子どもを育てていませんか？
- 自分の発言に責任をもてない子どもを育てていませんか？

チェックリストで振り返ってみましょう。

こんなことが
感じられる
教室に



福岡県教育庁福岡教育事務所

□ 1 浮かない表情で授業を進めていませんか？

⇒ 気分次第で態度を変えてもいいと考える子どもを育てることになります。

□ 2 空席に注意を払わずに授業を始めていませんか？

⇒ 休んでいる友達に気を配らない子どもを育てることになります。

□ 3 汚れたままの黒板で授業を始めていませんか？

⇒ 学習道具を大切に扱わない子どもを育てることになります。

□ 4 乱れたままの教室環境で授業を始めていませんか？

⇒ 整理整頓が苦手な子どもを育てることになります。

□ 5 授業中に、友達言葉で子どもたちに話しかけていませんか？

⇒ 公私の区別をつけられない子どもを育てることになります。

□ 6 個人思考やグループ学習の際に、すぐに個別の指導に入っていないませんか？

⇒ 粘り強く考え、自力解決する力が身に付かない子どもを育てることにつながります。

□ 7 子どもの不適切な「つぶやき」をスルーしていませんか？

⇒ 自分の発言に責任をもてない子どもを育てることになります。

□ 8 グループにしたときにできる机の隙間に無頓着になっていませんか？

⇒ 公的な場で自分の感情に任せて行動する子どもを育てることになります。

□ 9 チャイムを意識せず、指導者の都合で授業を進めていませんか？

⇒ 時間にルーズな子どもを育てることになります。

□ 10 子どもたちとつくった学級目標が「絵に描いた餅」になっていませんか？

⇒ 集団決定することの大切さを実感できない子どもを育てることになります。



「平野中学校の学習スタイル：生徒・教師」も同じような視点で作成をしています。授業づくりの基礎中の基礎がこの10項目です。まず、自分自身の姿を振り返り、これからの意識と姿に反映させてください。